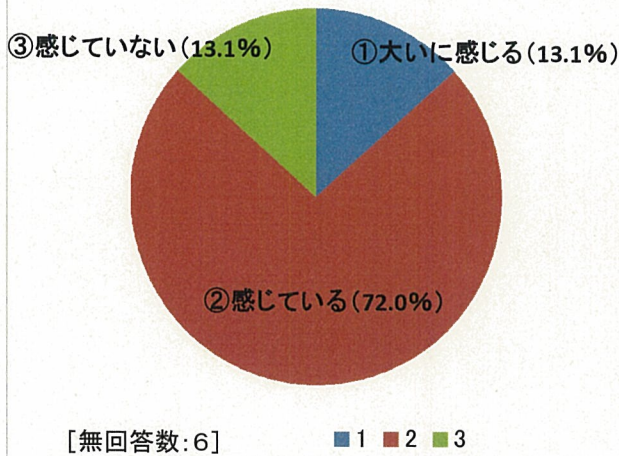


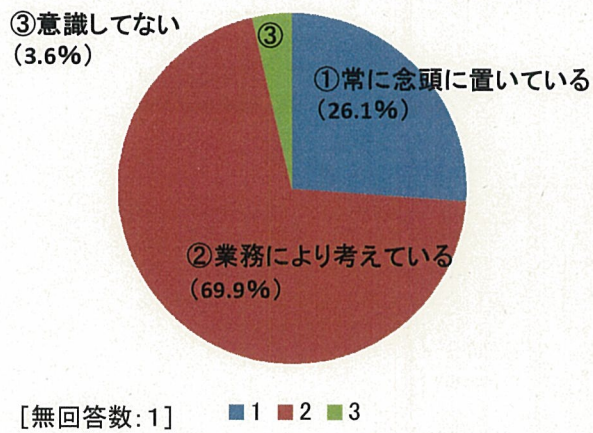
福島県建設技術協会「会員の職務に関する意識調査」

Q1 土木(建築)技術者としてやりがいを感じているか



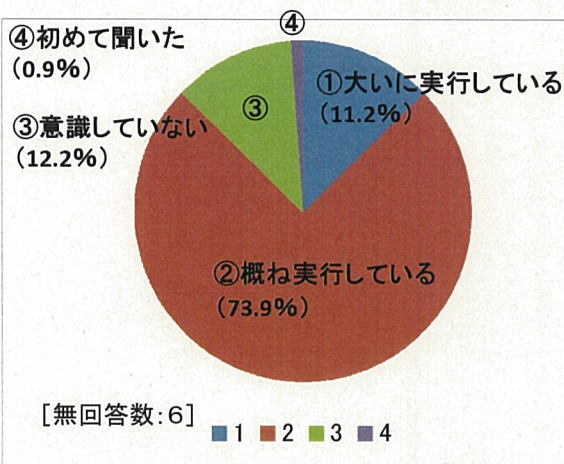
①「大いに感じる」②「感じている」で全体の85%を占めており、土木技術者として、ほとんどの職員が何らかの『やりがい』を感じている。

Q2 職務の遂行にあたっては、常に改善意識、創意工夫を念頭に職務にあたっていますか



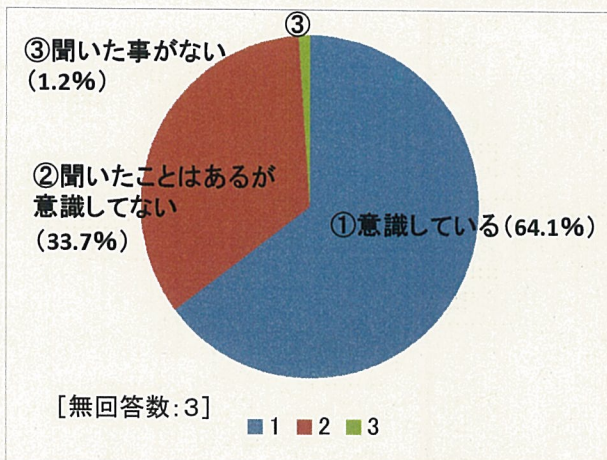
③「意識してない」との回答は全体の3.5%と僅少で、ほとんどの職員は業務の遂行にあたって、改善意識、創意工夫等を考えながら業務に取り組んでいる。

Q3 「現場主義」と言われているが、その意味の理解度、実効性についてお聞かせください



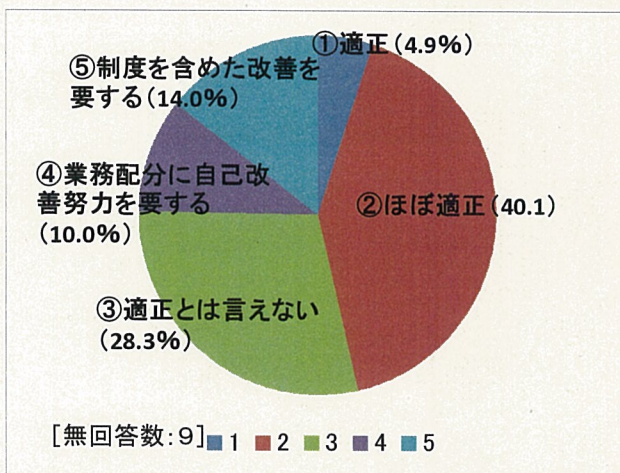
全体の85%の職員が実行しているとの回答があり、また、意見等を見ても、「現場主義」については、ある程度浸透していると考えられる。しかし、「現場へ行く時間が欲しい」との意見もあり、実行には苦勞している実態も浮かび上がる。

Q4 土木部が組織運営の視点としている「現場主義」「原点回帰」「学習する組織」を業務遂行にあたって意識していますか



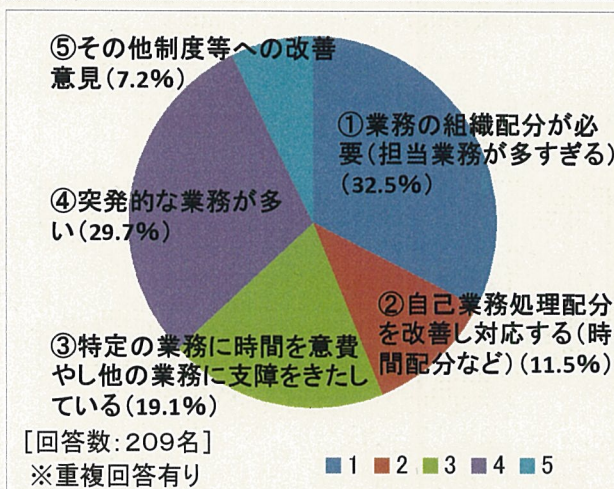
4割近い職員が、部の組織運営の視点を意識せず業務を行っている実態が分かった。これらの視点を業務上どのように関連づけ指導し浸透させていくかが課題となる。

Q6 あなたの業務内容(割合)についての意見をお聴かせ下さい



全体の約6割の職員は、自分の業務量に対し、何らかの不満を抱えながら仕事に従事している実態が浮かび上がった。

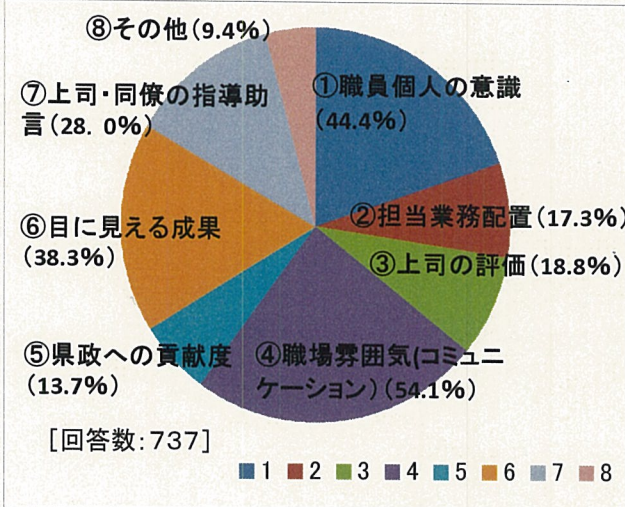
Q6-1 上記3~5と回答に他方に、理由は何ですか



①「業務の組織配分が必要」と④「突発的な業務が多い」で6割強を占めている。意見等からは「業務量が多い」と感じる原因として、調査物が多い、業務分担が不適切、人員不足と考えている。

Q7 職員のモチベーションを左右するものは何だと考えられますか(複数選択可)

●モチベーションを上げる要因は

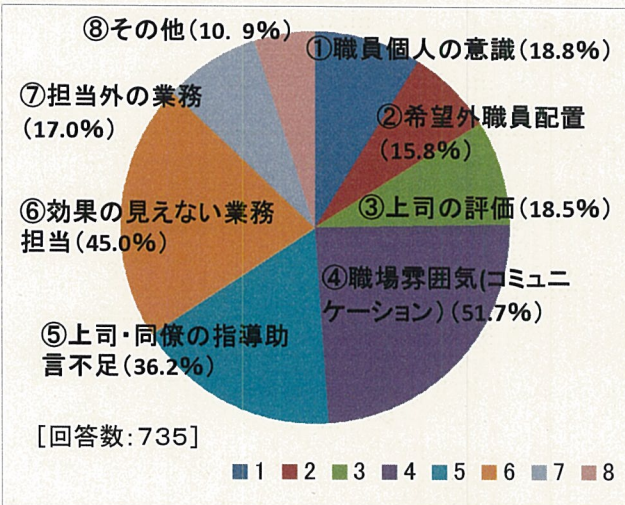


○モチベーションを上げる《ベスト3》

- No1.職場の雰囲気(54.1%)
- No2.職員個人の意識(44.4%)
- No3.目に見える成果(38.3%)

以上のように、2人に1人は職場雰囲気(コミュニケーション)を最重視している

●モチベーションを下げる要因は



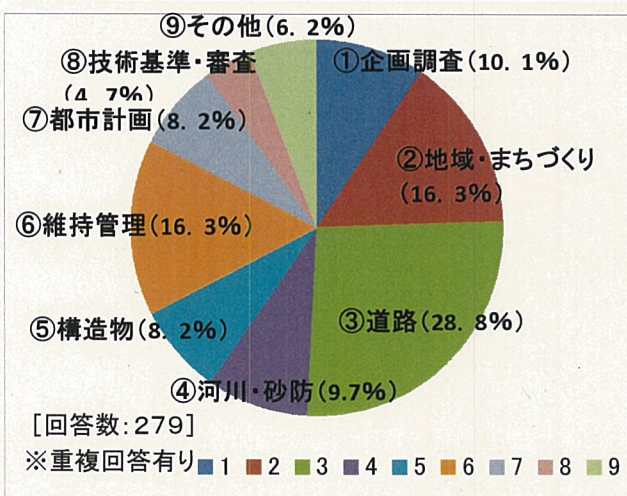
○モチベーションを下げる《ベスト3》

- No1.職場の雰囲気(51.7%)
- No2.効果の見えない業務担当(45.0%)
- No3.上司・同僚等の指導助言不足(36.2%)

モチベーションを上げる要因と同様に、2人に1人は職場雰囲気(コミュニケーション)を最重視している。

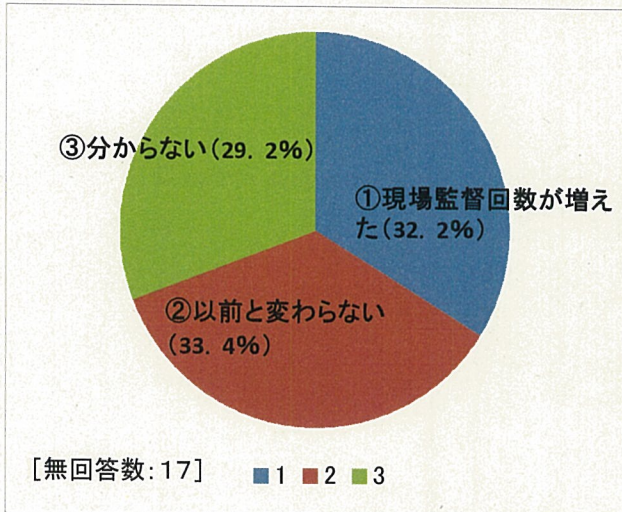
以上から、モチベーションに影響を与える最大の要因は、職場雰囲気(コミュニケーション)ということが出来る。このことは、「上司と気軽に相談できる職場」や「問題を一人で抱え込まない」等の改善等の意見からも裏付けられる。

Q8 どの部門の業務に従事してみたいですか(出先会員のみ)



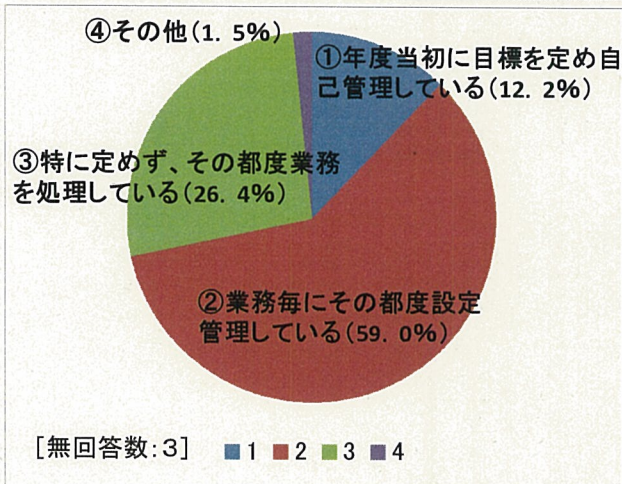
「道路関係業務」が28.8%と多く、次に「地域・まちづくり業務」と「維持管理業務」16.3%の同数で続いている。

Q9 入札制度改革後の品質確保のための工事監督について



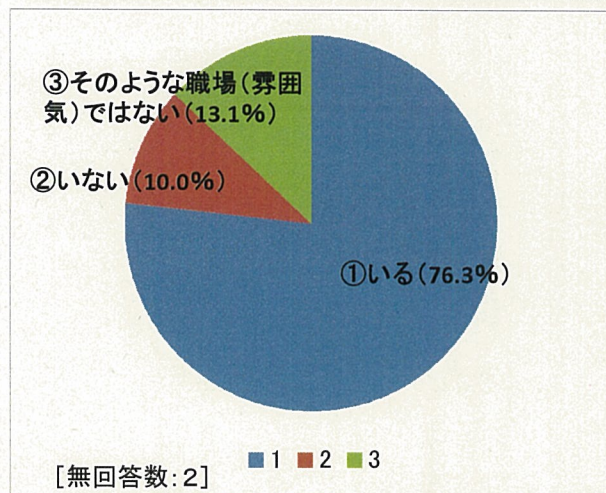
「以前と変わらない」が33.4%で、最も多いが、約3割の職員は現場へ行く回数が増えたと回答している。意見等にも「県工事未経験業者を相手にする機会が多くなった」とあることから、現場へ行く回数も増えている状況がうかがえる。無回答が多いのは、県庁職員の回答数が少なかったため。

Q10 自己担当業務について目標(スケジュール含む)を設定しているか



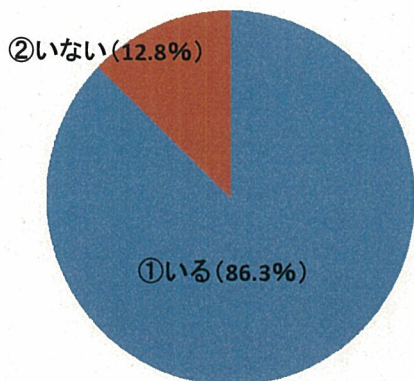
7割の職員は、何らかの目標を設定し業務を遂行しているが、3割弱の職員は業務多忙で目先の業務に追われているのか、目標等の設定をしていない。

Q11 あなたは、上司や先輩から常に適切なアドバイスが受けられるような職場環境にありますか



8割弱の職員はアドバイス等が受けやすい職場環境と回答しているが、2割強の職員はその様な環境にないと回答しており、業務に対するモチベーションを下げる要因となっている。

Q12 周囲に身近に相談できる先輩や同僚がいますか

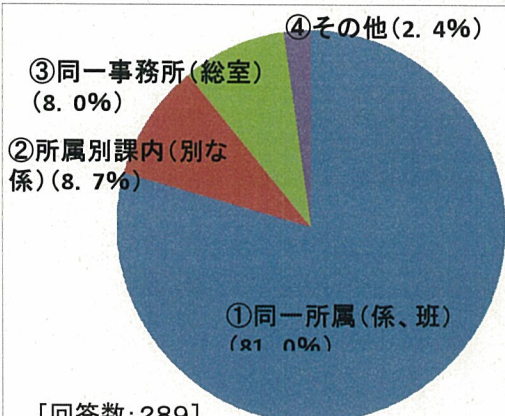


[無回答数: 2]

■ 1 ■ 2

9割弱の職員は身近に相談できる先輩や同僚がいると回答しており、職場内で孤立している職員は少ないと思われる。しかし、一方で数は少ないが、「いない」と回答した職員は、前問とも関係するが、何らかの対応が必要ではないか。

Q12-1 前記設問で「1 いる」と答えた方にお聞きします。その方の所属はどこですか

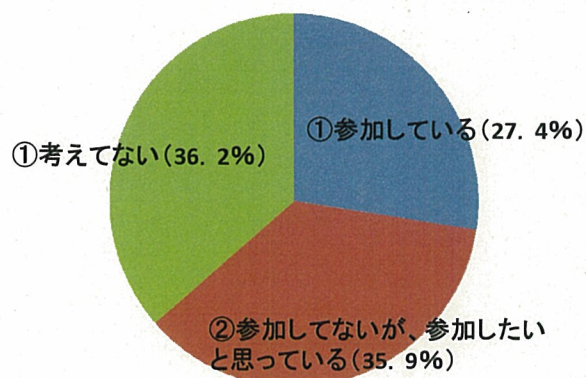


[回答数: 289]

※複数回答有り ■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

身近に相談できる先輩や同僚がいると回答した職員の大半(約8割)は同一係(班)にいると回答している。また、複数回答もあり、各所属それぞれに「いる」と回答した職員もいた。

Q13 業務外で任意の各種勉強会、地域団体活動、ボランティア活動等に参加していますか

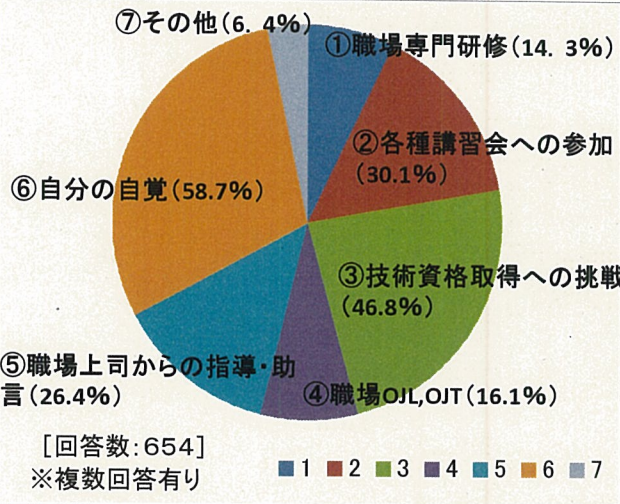


[無回答数: 2]

■ 1 ■ 2 ■ 3

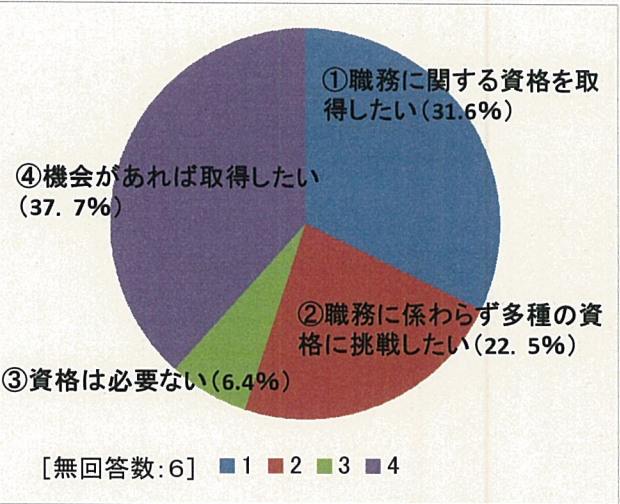
「参加している」と「参加していないが、参加したいと思っている」を合わせ、6割強の職員が回答しており、自己啓発、社会参加等について、関心の高さがうかがえる。また、この結果からは際だった傾向はつかめない。

Q14 自分の技術力の維持・向上に有効なものは何だと思えますか(複数選択可)



⑧「自分の自覚」、③「技術資格取得への挑戦」が非常に多く、技術力の向上については、自分自身の努力が必要だと感じている職員が多い。逆に、①「職場専門研修」、④「職場内OJT」や⑤「上司からの指導・助言」は、直接技術力向上につながりにくいと考えている傾向が読み取れる。

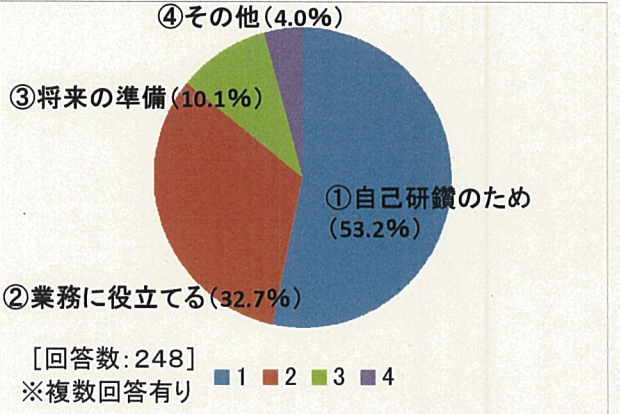
Q15 資格取得に対する意見をお聞かせ下さい



9割以上の職員が資格を取得したいと考えており、資格取得にたいする意識の高さが読み取れる。

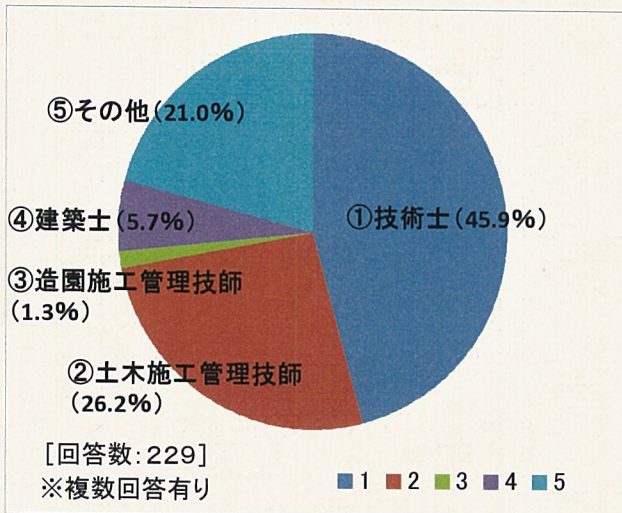
Q15-1 前記質問で①「職務に関する資格を取得したい」と回答した方についてお答え下さい(複数選択可)

●資格取得理由は



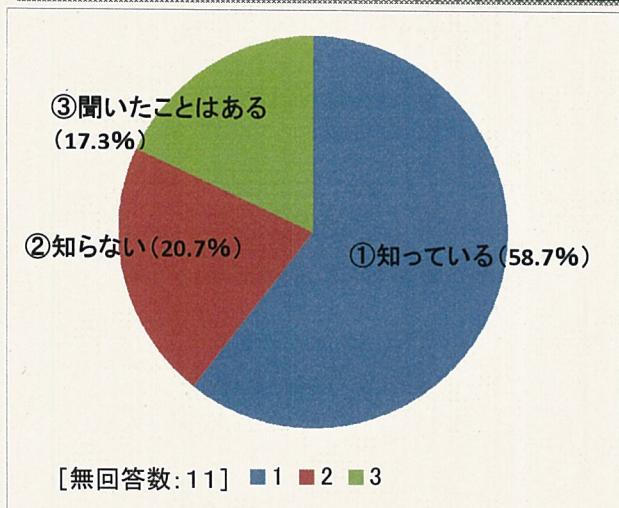
二人に一人は「自己研鑽のため」との理由により資格を取得したと回答している。

●取得したい資格は何ですか



取得したい資格として、約4割は「技術士」と回答している。

Q17 福島県建設技術協会で「資格取得講支援習会(技術士)」を毎年開催していることを知っていますか。



約6割の会員が知っていると回答しているが、4割弱の会員は「知らない」、「聞いたことはある」と回答しており、PR手法等の検討が必要。